

令和5年度 第2回 福知山鉄道館企画会議  
議事概要

1 日 時 令和5年7月12日（水）午後6時00分～午後7時30分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 3階 3-2会議室

3 参加者

委 員	仁木 弥生 (ゆらのガーデン出店者協議会)
	福井 佳代 (福知山観光協会)
	奥田 友昭 (サードプレイスツーリズム協議会)
	赤井 貴恵 (子育て支援NPO法人おひさまと風の子サロン)
	林 あゆみ (石原ママサークル いいともさ)
	松山 美昭 (西日本鉄道OB会/福知山SL保存会)
	前田 智久 (福知山市小学校教育研究会 社会科部長)
	宮田 毅 (公募委員)
	友塚 絢人 (公募委員)
事務局 (福知山市)	森田 成章 (産業政策部産業観光課商業担当課長)
	河野 恒州望 ( " 商業振興係長)
	鈴木 武志 ( " )
	高石 麻衣 ( " )

4 会議概要

次 第	内 容
開会挨拶	赤井副委員長
1 前回振り返り	(資料に基づき説明)
2 現状報告	(資料に基づき説明)
3 ショップ取扱い 土産品について	(主な意見) <ul style="list-style-type: none"> <li>■お土産の賞味期限は誰がチェックするのか。 ⇒職員が行う。</li> <li>■委託販売の手数料 25%は決定なのか。原価率が高騰している中、高い印象。 手数料上乗せした価格で販売するのは、売れるのか懸念される。一業者に付き、商品を置くのに一定額を払うという考え方もあるのではないか。 ⇒観光協会が 25%と定めており、それを下回ることができない。</li> <li>■観光協会では、常に置いている商品は手数料 25%だが、イベント販売やセット販売では 15%。ショップの運営状況やイベント出店に応じて柔軟に設定す</li> </ul>

	<p>る視点もあり。ただ、市直営の場合はきちっと数字を定めておいた方が良い。</p> <p>■オリジナルグッズはどのようなものを考えているのか。 ⇒マグカップ、トートバッグ、タオルが決定している。また、既製品にオリジナルロゴマークを入れて販売できないか、業者にあたろうとしている。ロゴマークの使用基準を作り募集し、随時グッズ開発していきたい。</p> <p>■既存の商品に JR の鉄道車両など絵を使う際の情報（使用料がかかるか、申請が必要か等）を市から示すことで、よりフクレルでしか売っていない且つ福知山の商品を考えていけるのではないか。</p> <p>■選定方法について、売れ筋を定期的な商品とし、半年や 1 年ごとに再度募集することで、商品のブラッシュアップも含め、互いに競わせることもできて面白い。情報発信にも繋がる。</p> <p>■商品を置く場所は大事。公平性を保つために、ローテーションさせていっても良い。</p> <p>■食べ物関係、グッズ関係共に市内業者が対象か。観光協会では市外業者に頼むオリジナルグッズが多い。市内業者では、条件に合う該当が少ない現状。 ⇒鉄道グッズは、JR の許可を得て作られた既製品を仕入れるというイメージなので、市外業者がほとんどになると思われる。大江作業所が丹鉄の許可を得て作られているお菓子があり、鉄道グッズとしても市内土産としても扱えると考えている。オリジナルグッズも市内業者とのコラボレーションで進めていきたい。商品の売れ筋把握は大事だと考えており、京都鉄道博物館のショップ運営している会社から情報提供してもらい、参考にしたい。</p> <p>■オリジナルグッズが一般的という印象。ここでしか手に入らない変わったグッズがあったら良い。ポストカードのように、JR の写真や福知山の風景とマッチしたものをご当地グッズとして販売できたらいいのではないか。もし駅弁を販売するならば、冷蔵庫スペース等今のうちに考えていかなければいけない。館内で飲食できるのか。 ⇒館内飲食は不可。展示物や体験コンテンツ等機械物もあるので飲食は屋外にてお願いしたい。再入場は可としている。</p>
<p>4 イベント等スケジュールについて</p>	<p>(主な意見)</p> <p>■ハロウィンでフクレルをお化け屋敷にできないか。 ⇒館内を暗くした際の入場者の安全と、展示品を守る仕組みを作れるかが課題。お化け屋敷のゴールとして、開館時間を夜間に延長することは可能。</p> <p>■ワンダーマーケットの内容自体は大きく変えることはできない。 ⇒ワンダーマーケットは通常開催し、フクレルがそこに乗っかるイメージでコラボできたらと思う。例：フクレルを含む何店舗かを回り、鉄道に関する記念品プレゼント</p> <p>■フクレルの外では出店できるのか。 ⇒福知山城公園での出店については、規則や法律の観点で、制限と緩和につ</p>

	<p>いて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■公立大学の学祭では、まちなかフェスティバルのようにジオラマを出したり、他団体のイベントを手伝うことはできると思うが、鉄道サークル以外の学生が興味を持つかが不明のため、もう少し検討する必要があると感じる。</li> <li>■ジオラマのイベントには、絶えず子ども達がいた印象があるので、規模は小さくても何回もやる意味があると思う。</li> <li>■TANTAN ロングライドは難しいのではないか。コースに市内が含まれない。</li> <li>■酒呑童子まつりは、動線という意味では無理があるが、丹鉄とのコラボ商品やオリジナルグッズを出店で販売するのはどうか。</li> <li>■小さい子連れには、いくつも移動するイベントは大変なので配慮が必要。</li> <li>■無人駅の出張イベント、定期的なワークショップや鉄道セミナーを企画している事例もある。</li> </ul>
<p>5 企画展示について</p>	<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■佐藤太清美術館で毎年やっている「小さな絵画展」のようなことを企画展示でやるのはどうか。子供たちにとってもSLは描きごたえがある。</li> <li>■旧3町の文化的な展示があってもよいと思う。夜久野町は線路も走っており、松本零士さんに関する展示もできるのでは。</li> <li>■北丹鉄道展示に繋げて、観光案内ボランティアを絡めたら、より関心をもってもらえるのでは。展示に限らず、廃線ウォークなどイベントとの連携も面白い。</li> <li>■アニメや子供が関わる展示は、長期では無く夏休み限定などという視点も必要。自由研究のネタ集めや、夏休みだからこそ行ってみようかなという企画。</li> <li>■絵本作家やスペシャルゲストが来るなど、企画展示の中でもイベントを実施すると、リピーターが行きやすいと思う。</li> <li>■個人の所有物を展示することができるのか。応援サポーターが所有する物を展示する企画はどうか。旧ポッポランドでは「お宝展」をやっていた。 ⇒撮り鉄の方の写真展や、手作りの模型を一時的に借りて展示するなど、募集して企画することはできると考えている。</li> <li>■個人のプラレールを走らせる企画も面白い。</li> <li>■体験コンテンツやジオラマ展示に関して、故障した場合の対応・修理体制を考えておくことも必要。</li> </ul>
<p>6 SNSの活用について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■インスタライブ（当日やっていること、展示の様子、イベントの様子、OBの方の語りを投稿するなど・・・）</li> <li>■発信用にインフルエンサーを抱える。</li> <li>■鉄オタタレントやYou Tuber に動画を投稿してもらう。</li> <li>■オリジナルグッズや特別なできごとなど、どんどん発信していくと良い。</li> </ul>

7 事務連絡	料金の減免について規則を定めるにあたり、ご意見があれば連絡をいただきたい  令和5年度第3回福知山鉄道館企画会議は内覧会と合わせて実施。 内覧後にご意見を頂く場を設ける。 <b>【令和5年8月24日（木）午後4時～午後5時】</b>
-----------	--